

## アートギャラリー884 特別企画展 「この国の手がかかり」

2021年早春、私は、伝統工芸の工房を訪ねる機会を得ました。そこで、日本文化は漆文化であるにもかかわらず、和漆がほとんど生産されておらず、絶滅に瀕している事を知りました。漆のみならず、伝統的な日本文化の中核を担っている工房や職人が存続の危機に至っている現状も伝わってきました。

伝統工芸はほとんどが分業制で、一つの道具、材料、技術が途絶えても成り立たない文化であり、後継者育成も経済的に難しい。そんな危機的状況のなかでもただただ黙々と自分の仕事に打ち込む真摯な職人の姿に胸を打たれました。

画廊に何かできることはないだろうか。私は、この姿を絵にして残すことならできないかと思い至りました。人物画に定評のある画家、山本宗平氏に依頼し、快諾を得ました。それ以後、彼は私と共にこのプロジェクトを推進してくれております。

特別企画展「この国の手がかかり」は過去2回の展示をさせていただいております。一画廊の微力な活動ではありますが、今回も描いた職人の方の姿とともに、普段使用している道具、材料等と作品を展示させていただきます。

多くの方がたにご覧いただき、その素晴らしさと存続の危機にある現状をご理解いただき、日本文化を少しでも守るべく、ご一緒に考えていただければ幸いと存じます。

最後に、この展示にご協力いただいた伝統工芸師の方がたに感謝申し上げます。またこの度、このプロジェクトにご賛同をいただき、ご支援いただける皆様に心からお礼申し上げます。

2024年9月吉日

アートギャラリー884 佐野加代子

- ご協力者 井浦俊次（指物・修復師） 大谷普賢（指物師） 株式会社加藤小兵衛商店  
（漆工材料） 株式会社倉橋（京漆芸彩色） 株式会社漆芸舎（漆芸修復）  
田畑修（常華木彫家） 中津大造（面相筆製造） 長澤重春（能面師）  
株式会社のむら（西陣有職織物） 野崎織匠株式会社（手機織物）  
井政（祇園お茶屋） 船津一（映像作家） 山本宗平（画家）
- ご賛同者 鍵岡正謹（岡山県立美術館顧問）  
酒井忠康（美術評論家）  
中里良二（元共立女子短期大学学長）  
若林 覚（元練馬区美術館館長）  
八木信忠（元日本大学副総長）  
後藤洋明（美術研究家）  
山名 泉（高島平ドキュメンタリー映画を見る会主宰）